

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 浄蓮福社会

植木保育園

法人本部区分

(1) 理事会開催実績

開催日	決 済 事 項
令和3年6月12日	1. 令和2年度事業報告 2. 令和2年度監事監査報告 3. 令和2年度決算書類承認 4. 令和2年度財産目録承認 5. 理事長職務執行状況について 6. 役員任期・改選について 7. 評議員会招集
令和3年6月27日	1. 評議員会報告 2. 理事長の選任 3. 監事の選任
令和4年2月20日	1. 指導監査報告 2. 令和3年補正予算について 3. 理事長職務執行状況について
令和4年3月27日	1. 令和4年度事業計画について 2. 令和4年度期首予算について

(2) 評議員会開催実績（定時評議員会）

令和3年6月27日	1. 令和2年度事業報告について 2. 令和2年度監事監査報告 3. 議事録署名人の選定
-----------	--

(3) 監事監査実績（令和2年度事業に係る）

令和3年5月22日	・理事の業務執行状況 適切に執行されており、特に指摘すべき事項はありません。
-----------	---

(4) 指導監査の結果（令和元年度事業に係る。）

令和3年12月7日	・保育所（福岡県・直方市監査）
-----------	-----------------

① 施設運営

- ・育児休業、介護休業等の法律の一部改正により、規定が新設されています。この改正の内容を踏まえて規程の改正を行ってください。 法人育児休業及び介護休業規程
- ・労働条件通知書に、所定労働時間を超える労働の有無、労働改善の相談窓口を記載してください。
- ・労働時間を適正に把握するため、労働者の日ごとの始業・終業時刻を確認し、適正に記録するようにしてください。

② 児童処遇

施設で調理したおやつについても、昼食と同様に、検食者、検食時刻及び所見について記録してください。

③ 会計

資産総額の変更登記については、会計年度終了後3か月以内に行うようにしてください。

施設区分

(1) 職員配置

職員数 27名

園長1 主任1 保育士19 (内9名は非常勤) 栄養士1

調理員3 (内1名非常勤) 事務員1 その他1名

(2) 入所児童数

直方市 (北九州市・宮若市・新宮町)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和3年	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(3)
4月1日	9名	11名	16名	17名	20名	22名	95名
5月1日	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(3)
	9名	11名	16名	17名	20名	22名	95名
6月1日	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(3)
	9名	11名	16名	17名	20名	22名	95名
7月1日	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(3)
	9名	11名	16名	17名	20名	22名	95名
8月1日	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(3)
	7名	11名	16名	17名	20名	22名	93名
9月1日	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(3)
	7名	11名	16名	17名	20名	22名	93名
10月1日	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(3)
	7名	11名	16名	17名	20名	22名	93名
11月1日	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(3)
	7名	11名	16名	17名	20名	22名	93名
12月1日	(0)	(1)	(2)	(2)	(1)	(0)	(6)
	7名	11名	14名	16名	20名	22名	90名
令和4年	(0)	(1)	(2)	(1)	(1)	(0)	(5)
1月1日	7名	11名	14名	16名	20名	22名	90名
2月1日	(0)	(1)	(2)	(1)	(1)	(0)	(5)
	7名	11名	14名	16名	20名	22名	90名
3月1日	(0)	(1)	(2)	(1)	(1)	(0)	(5)
	7名	11名	14名	16名	20名	22名	90名
計	(0)	(12)	(8)	(13)	(12)	(0)	(45)
	92名	132名	184名	200名	240名	264名	1112名

() 内は他の市町村からの受け入れ児童数

(3) 補助金等

令和3年度 補助金

直方市保育環境改善対策事業 (新型コロナウイルス感染症対策支援)	500,000円
直方市(延長保育事業特例措置分)	
新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業	250,000円
保育士等臨時特例交付金	418,460円
延長保育促進事業	300,000円
障がい児保育事業	1,864,800円
多子世帯給食費補助金	139,500円
睡眠中の事故防止対策事業	375,000円

(4) 施設及び設備の整備実績

・オゾン除菌脱臭機エアースター	9台	1,881,000円
・非接触体温計(サーマルカメラAI)	1台	169,400円

(5) 職員会議及び職員研修等の実績

・職員会議	月1回	園内研修	年齢別に月1回
・園内研修	虐待防止研修会		
・県内研修			
・福岡県保育協会研修会		障がい児保育、保護者支援・子育て支援等	
・筑豊地区研修会		オンラインにて参加	
・直方市保育協会研修会		コロナ感染拡大防止のため中止	
・福岡県人権・同和研修会		園内コロナ感染者対応のためキャンセル	
・直方市人権研修会		セミナー参加	
・企業同和問題研修会		セミナー参加	

(6) 苦情等解決機関の設置と実績

意見・要望等受付担当者	主任保育士	鬼武	久江
意見・要望等の相談解決責任者	園長	池田	勇
第三者委員		栗山	一
第三者委員		宇野	紀子

・令和3年度の実績

令和3年度の相談窓口への要望・苦情等は、ありませんでした。

令和3年度植木保育園事業報告

● 保育理念

社会福祉法人浄蓮福祉会の運営する植木保育園は児童福祉法に基づき「保育に欠ける」乳幼児の心身の発達を助長し養護と教育が一体となって豊かな人間性を健やかに育成する。

保育にあたっては、子どもの人権や主体性を尊重し児童の最善の利益のために家庭や地域社会と連携を図り、保育所の協力のもと家庭援助を行うとともに児童の福祉を積極的に増進するように努め、子育て支援に貢献する。

● 保育目標

- ・ 乳幼児の発達の筋道を正しくとらえ、情緒豊かな素直で明るい健康な子どもを育てる。
- ・ 恵まれた自然環境を活用し、心身の調和的な発達を図り、集団生活の中で情緒を安定させる。
 1. 体育遊びを積極的に取り入れ、心と身体をたくましくする。
 2. ひとりひとりを大切にし、こころ豊かな思いやりを育てる。
 3. 健康安全など日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。
 4. 人の話を良く聴き、自分の考えを正しく伝えられる力を身につける
 5. 表現活動を通じて創造力を養う。

● 一年の反省

1. 令和3年度の園児の事故（怪我）の件数は約30件で、昨年度の約半数に減少している。
園外活動で散歩や移動中に転倒し、膝や手に擦り傷をおう件数が少なくなった。園外へ出かける時は複数の保育士の配置と、長ズボンや長袖の着用、靴のサイズの確認など保護者へ協力を依頼した成果かと考えられる。
2. 今年度はコロナ禍で研修が対面とオンラインで選択できるようになった。しかし、対面のみでの研修機会は限定された。研修の参加人数はコロナ禍以前より少数となっている。しかし、コロナの県内市内の新規感染者が少ない期間の研修は積極的に参加した。
園内研修の虐待防止研修会をほぼ全員受講でき、保護者だけでなく、保育士自身による虐待へつながる子どもへの関りの見直しや改善へつながっている。
3. 新型コロナ対策として、手洗い・換気や消毒など対策を行っていたが、休園・クラス閉鎖や登園自粛など保健所や教育委員会との協議で行われた。保護者の皆様の協力で何度も引き続き行っていく。また、厚生労働省や行政から行事の中止や簡素化を求められている。引き続き、各行事の見直しや日々の保育の見直しを行っていきたい。
4. それぞれの職員の計画的な休みが取りやすい環境になっている。また、急な休みも職員同士でカバーしながら働けている。しかし、持病や怪我の治療のため複数の職員が同時期から数か月休むこととなった。代替職員の確保ができず、シフトや休みの調整が普段以上に必要となった。次年度は持病等があれば早期治療を薦めることや職員の怪我を防ぐチェックリストを職員で作りたい。
5. コロナによる休園やクラス閉鎖など大きな影響を受けた年度となった。保健所が逼迫し対応する件数が多く、連絡待ちの時間が大変長くなった。そのため、保護者への連絡も遅くなり、保護者の仕事面や生活面等で負担をかけることとなった。第6波ではオミクロン株に変わり感染者の症状は軽症が大部分となったが、感染拡大の期間や人数は過去最大となった。

浄蓮福祉会における現状と課題

令和3年度はコロナ禍であったが、職員の日々の努力により、できることを追求し、のびのびとした・意欲に満ちた子ども達を育てることができた。職員間で意思疎通を密にして保育理念を共有し、同じ方向に向かって進んでいきたい。

今後も社会福祉法人としての責務の確立、さらに透明性の高い運営を目指したい。

1.事業方針について

・入所児童について

年度途中から数名の減少があった。

・特別保育事業

乳児保育 事業目的：乳児を受け入れ保護者が安心して働き続けるためと子どもの発達保証を目的とする。

延長保育 事業目的：保護者の就労時間形態の変化に伴い、保育時間を1時間延長し対応する。

2.研修会について

創造保育研究会の実技研修、(各年齢別に園内研修を実施する。)さらに保育園団体が主催する研修会・福岡県保育協会主催の研修に対面とオンラインで一部参加する。又、直方市保育協会の主催する研修に参加する予定であったが、大部分が中止となった。

3.安全管理について

消火訓練.避難訓練は毎月1回実施し、水害.地震.不審者防犯訓練等も年1回実施している。また、防災計画を作成し、これに沿った安全管理、防災に心がけている。

近隣の住宅で火災が発生したため、火事に対して子どもたちは真剣に話を聞いている。火遊びをしないことも保育士から話をしている。

4.健康管理について

園児は定期的に年2回の内科健診,歯科検診を行っている。また、尿検査も年2回行った。職員は年1回の健康診断を行うとともに給食、乳児担当の保育士は毎月検便を実施している。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手洗い、うがい、換気、消毒等の基本的な対策を繰り返し行った。園行事は簡素化や中止を行った。

各家庭でも登園前の検温を確実にを行うように協力を依頼し、園内でも検温を徹底した。嘱託医と感染症等の情報交換を行い、予防に生かしている。

5.地域交流について

令和3年度は、コロナの影響を受け、小中学校はじめ地域との交流機会が中止となった。地域の方が管理されている竹林へ例年伺っていたが、できなかつたため、有志の方から筍を頂き、子どもたちで皮を取ったりしながら、給食室で調理し味わった。

大きないちょうの木が地域ボランティアによって管理されており、4才児と5才児クラスが季節を感じ、葉の色どりの変化や落ち葉、木に触れるため何度も利用させてもらっている。園内の保護者向けスライド会の映像でも紹介している。

子育て支援センターで、2才児や3才児クラス等が散歩して近くに立ち寄った時は庭で遊ばせてもらっている。今年度はコロナ禍の影響を受け、センター利用者と一緒に遊ぶことができなかった。

次年度以降のコロナ終息後、地域の方との交流ができることを切に期待している。